

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【三橋中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題>各種調査で生徒の学習時間に関する質問項目は、低い傾向がある。基礎的・基本的な知識・技能の定着に向け、繰り返し取り組むことが課題となっている。 <指導上の課題>学力の定着状況に差があることから、個に応じた指導の必要性が高い。	⇒ 小テストの実施・業前活動での朝学習・家庭学習の課題設定など、基礎的・基本的な内容について、繰り返し取り組む。【通年】 授業改善に向けては、本年度より学校研究として行っている「個別最適な学び」を、さらに推進していく。各教科で公開授業を行い、教職員が参観し合う研修を行う。【2学期】
思考・判断・表現	<学習上の課題>思考力・判断力・表現力を伸ばす前提となる、基礎的な事項の定着に課題があると考えられる。 <指導上の課題>生徒が自己表現する活動を設定すると共に、その過程の評価・指導改善を図る必要がある。	⇒ 各教科で、見方・考え方を働かせ、基礎的・基本的な知識・技能の定着を確実にした上で、主体的・対話的で深い学びができるよう授業改善を図っていく。学校研究を進め、成果を教職員で共有しながら、指導改善に努める。【通年】 家庭と連携をとりながら学習習慣を確立し、基礎的・基本的な内容を定着を図る。【通年】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)